2025/05/28 分野抄読会

MCID に関する研究

東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学専攻
医学統計学分野 修士課程 2 年 栗原愛佳

生活の質・生命の質（Quality of Life：QOL)は、患者や一般の人々の主観的な健康や医療の効果に関する評価指標の一つである。このうち健康に関連するものは健康関連 QOL (health related quality of life：HRQOL)とも呼ばれる。HRQOL を評価するために、患者の視点から評価する患者報告アウトカム（Patient Reported Outcome：PRO)という概念と用語が提唱され、PRO を使用する臨床試験は増加している。しかし、PRO 評価の測定結果の解釈は統計学的有意性の検定だけではなく、臨床的意義についても重要視されている。

臨床的に重要な最小差異を表す MCID (Minimal Clinically Important Difference)の値を算出して、臨床的意義を検討することがある。本抄読会では MCID の代表的な算出方法を実際の事例を含めて紹介し、MCID を使用する際の問題点と今後の展望を共有した。

参考文献

[1] Basch, E. (2010). The missing voice of patients in drug-safety reporting. New England Journal of Medicine, 362(10), 865-869.

[2] Penning D, Kleipool S, van Dieren S, Dingemans SM; RODEO Collaborator Group; Schepers T. The minimal clinically important difference (MCID) of the Olerud Molander Ankle Score (OMAS) in patients with unstable ankle fracture. Arch Orthop Trauma Surg. 2023 Jun;143(6):3103-3110.